

愛知医科大学病院

病院長名 道勇 学
所在地 〒480-1195
愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内 地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分
東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

愛知医科大学皮膚科研修プログラム

【研修目標】

研修を終了し所定の試験に合格した段階で、皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とする。医師としての全般的な基本能力を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・治療技能を修得し、関連領域に関する広い視野をもって診療内容を高める。皮膚科の進歩に積極的に携わり、患者と医師との共同作業としての医療の推進に努める。医師としてまた皮膚科専門医として、医の倫理の確立に努め、医療情報の開示など社会的要望に応える。

【研修期間】

5年

【研修スケジュール】

1、2年目：主に愛知医科大学皮膚科において、カリキュラムに定められた一般目標、個別目標（1.基本的知識 2.診療技術 3.薬物療法・手術・処置技術・その他治療 4.医療人として必要な医療倫理・医療安全・医事法制・医療経済などの基本的姿勢・態度・知識 5.生涯教育）を学習し、経験目標（1.臨床症例経験 2.手術症例経験 3.検査経験）を中心に研修する。

3年目：経験目標を概ね修了し、皮膚科専門医に最低限必要な基本的知識・技術を習得し終えることを目標にする。

4、5年目：経験目標疾患をすべて経験し、学習目標として定められている難治性疾患、稀な疾患など、より専門性の高い疾患の研修を行う。3年目までに習得した知識、技術をさらに深化・確かなものとし、生涯学習する方策、習慣を身につけ皮膚科専門医として独立して診療できるように研修する。専門性を持ち臨床に結びついた形での研究活動に携わり、その成果を国内外の学会で発表し、論文を作成する。さらに後輩の指導にもあたり、研究・教育が可能な総合力を持った人材を培う。



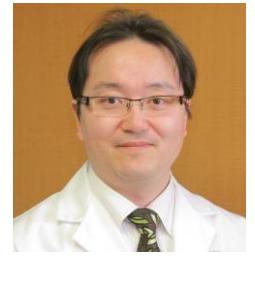
□ 主な連携施設

総合大雄会病院、独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院、斎藤病院、みよし市民病院、総合上飯田第一病院、国立がん研究センター、静岡がんセンター
準連携施設として社会医療法人厚生会 多治見市民病院、半田市民病院

□ メッセージ

指導医（教授 渡辺大輔）

愛知医科大学皮膚科プログラムでは愛知医科大学医学部皮膚科を研修基幹施設として、トヨタ記念病院皮膚科、総合大雄会病院皮膚科、みよし市民病院皮膚科、上飯田第一病院皮膚科、中京病院皮膚科を研修連携施設として、また、多治見市民病院皮膚科を研修準連携施設として加えた研修施設群を統括する研修プログラムです。なお、本プログラムは各研修施設の特徴を生かした複数の研修コ



ースを設定しています。期間施設である。愛知医科大学病院では、一般診療に加え、専門外来として、ウイルス外来、発汗外来、乾癬外来、アレルギー外来を設けており、外来患者数は1日平均113名にのぼり、豊富な経験を積むことが可能です。また、年間手術件数は250件を超えます。研究の面では、いくつかのグループを作り、指導医との連携を強め、多様な研究結果を創出しています。若い医師も多く、明るく楽しい雰囲気で行なっています。当プログラムで明日を担う優秀な皮膚科専門医になっていただきたいと思えます。やる気のある方を募集しています！！

□ 募集要項

・採用予定人数	5人
・給与/月額	月額:426,709円(免許取得後3年目医師の平均、R4年度実績、別途賞与支給あり) ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数/月	1~2回
・当直料/回	(救急外来) 宿直手当 約33,000円 (病棟) 宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 渡辺大輔 電話番号 0561-62-3311 Eメール dwatanab@aichi-med-u.ac.jp